



防災品の販売などを行った三遠南信しんきんサミットの「高校生・大学生ブース」＝豊橋市

豊橋で三遠南信しんきんサミット

## 3県の物産販売

やも 高商 小笠井 袋

三遠南信地域の9信用金庫が主催する「第11回三遠南信しんきんサミット」(静岡新聞社・静岡放送後援)が17日、豊橋市で開かれた。静岡、愛知、長野各県の広域連携促進が目的で、各信金と取引や連携のある約100社・団体が物産販売などを行った。

遠州からは深蒸し茶や干し芋、天竜浜名湖鉄道の関連グッズなど多彩な品々の販売ブースが出展した。東三河

のちくわや豆みそ、しようゆ、南信州のリンゴやシイタケなどの特産品も人気を集めた。「高校生・大学生ブース」には県内から、小笠高、袋井商業高、常葉大、静岡文化芸術大が参加。小笠高は学校で栽培した緑茶などを、袋井商は12月に開く模擬株式会社「袋商シヨップ」のPRを兼ね防災品を販売した。

愛知大三遠南信地域連携研究センター(豊橋市)の戸田敏行セン

ター長が軽自動車を使った移動販売「軽トラ市」を核にした3県連携の可能性を解説し、ニュースキャスター辛坊治郎氏の「どうなる明日の地方経済」と題する講演もあった。(豊橋支局・遠藤電哉)